

科目名・単位数	写真A	(2)単位	学習レベル	標準
----------------	------------	----------------	--------------	-----------

学習目標 ① 光とカメラと写真の関係についての理解。 ② 写真撮影に関する基本的な知識と技術の習得から、個々の良さや持ち味を生かした作品づくり ③ 絵画表現や版画、デジタル表現などの視覚的な表現分野への応用。				
学期	学習内容	学習のねらい	提出物	
前期 (4月～9月)	写真の基礎 ① カメラ・オブスクーラ カメラのルーツを暗室にて体験 ② 写真の歴史 ・感光乳剤の発明 ・カメラの歴史 ③ フォトグラム ・感光材料の性質 ・現像処理液類の性質 ・印画紙の現像処理方法 ④ ピンホールカメラ ・空き缶でのオリジナルピンホールカメラ作り ・撮影 光の強さの変化による写りかたの違い 露光時間による写りかたの違い パンフォーカスの特徴 ・ネガとポジの関係	・カメラ・オブスクーラを実際に体験することで、カメラの基本的な構造と光の性質を理解する。 ・写真の歴史・・・約180年。 カメラの歴史・・・紀元前より 双方の歴史を探ることで見えてくる人間の視覚への探究心について考察する。 ・写真の化学的側面の理解と感光乳剤が塗られたフィルムや印画紙の性質を探る。 ・カメラとしての基本的な構造や光の性質を理解する。 ・ネガとポジ、写真現像に伴う基本的な仕組みの理解。 ・暗室、現像処理の理解と習得。	写真テキスト ファイル フォトグラム作品 数点 ピンホール写真 数点、ファイル	
後期 (10月～3月)	写真の応用 I 白黒写真の世界 (写真撮影～フィルム現像～印画紙現像) ① 一眼レフカメラを使用するの野外撮影 テーマ:「虫の視点」(組み写真) ② 一眼レフカメラを使用するの屋内スタジオ撮影 テーマ:「友達のポートレート」 又は「セルフポートレート」 ③ 自主課題写真制作 テーマ:「自由」 ④ セレクト作品による写真集作り	・一眼レフカメラの使い方と撮影方法の理解。 ・三脚、ストロボの使用法。 ・フィルム現像工程の理解と習得。 ・引き伸ばしプリントの工程の理解と習得。 ・視点を意図的に変えることにより、新たな視点の発見や面白さを探る。 ・人間をあくまでも自然に、その人らしさが前面に出るようなポートレート撮影を目標とする。 ・各々が自由にテーマを設定し、責任を持って写真作品制作に取り組むことを目標とする。 ・これまでに撮りためた作品を写真集として製本する、まとめの作業。 自分の断片としての写真をまとめることで読み取れる自分探し。	組み写真 「虫の視点」 「友達のポートレート」 又は 「セルフポートレート」 自主課題写真作品 写真集	
評価の観点と方法 ① 関心・意欲・態度 基礎技術習得のためのねばり強さと、失敗の原因を追及し何度でもやり直す態度を評価する。 ② 発想や構想の能力 作品の制作過程において発想や構想の能力を評価する。 ③ 創造的な表現の技能 提出された作品から基礎技術の習得度および表現の技能を評価する。 ④ 鑑賞の能力 合評会、展示会、プレゼンテーション等を通して互いの作品の良さを的確に表現できるか評価する。				
使用教科書・副読本			実習費	2,500 円
教材・道具等 写真講義テキスト、ピンホールカメラ、印画紙、フィルム、現像薬品、一眼レフカメラなど				